

文部科学省における 国土強靱化の推進について

2023年4月7日
国土強靱化推進本部

1. 防災・減災、国土強靱化の取組

公立学校施設は、子供たちの学びの場であることはもちろん、災害時には地域の避難所ともなるため、**老朽化対策の推進など安全・安心な教育環境を確保**すると共に、**防災機能を一層強化**することが必要。

➤ 老朽化対策等の着実な推進

- ・公立小中学校の校舎は、**約半数が築40年以上経過し**老朽化が進行。近年、**老朽化に起因する不具合が増加**。
- ・**非構造部材の耐震対策も含め、老朽化対策を推進する必要**。

➤ 防災機能の強化

- ・年齢や障害の有無に関わらず、災害時に誰もが安全・安心かつ快適に利用することができるよう、**体育館への空調設置やトイレの洋式化、バリアフリー化、水害対策**を実施する必要。

2. これまでの対策による効果

構造体の耐震化や、体育館などの吊り天井の落下防止対策、安全対策が必要なブロック塀などの対策は概ね完了。

【対策状況 (R4年度時点)】

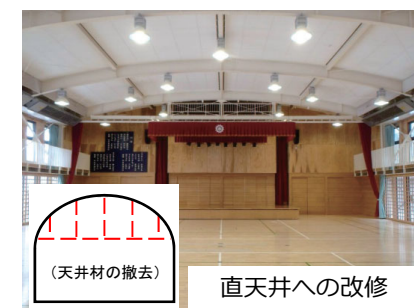
- ・構造体の耐震化 99.7%
- ・体育館等の吊り天井等の落下防止対策 99.5%
- ・安全対策が必要なブロック塀等 約1,000kmの対策完了

効果

学校施設の耐震化等を進めてきたことにより、令和4年福島県沖地震等においても、建物の倒壊等、大きな被害を防ぐことができた。



【対策前】東日本大震災による被害の状況 (H23.3.11)



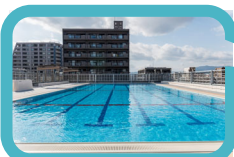
【対策事例】震災時に被害を防ぐための整備事例

学校施設における国土強靱化の取組効果

多様化する災害に対応できる「地域の避難所」としての学校施設整備

整備事例：京都市立 下京雅小学校

- 京都市では、災害時の避難場所として活用されることから、市内の学校施設について、体育館の防災機能強化を優先的に進めている。
- 下京雅小学校では、避難所となる体育館を2階に配置することで水害にも対応可能とし、多機能トイレやエレベーターを併設。
- 防災機能を最大限に活かす防災教育を推進している。



災害時に水源として利用可能なプール



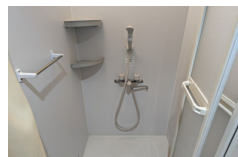
避難所となるアリーナを2Fに配置



防災機能を備えた校舎



多目的トイレ



シャワー室

災害時に児童・生徒の安全を守ると共に、**地域住民の避難所としての活用**が可能。

計画的・効果的な老朽改善と災害時に備えた防災機能の強化

整備事例：鹿児島大学

- キャンパス内の給水配管等のライフラインが著しく老朽化し、災害時には断水などの恐れがあるため、計画的に更新を実施。
- 対策により、災害時にも安全に教育研究活動が継続され、地域の避難所としても機能するよう、キャンパス全体を強靱化。



老朽化した給水管



改修後の給水管

老朽施設の改善やライフラインの更新等により、**国立大学等の教育研究機能及び防災機能を強化**。地域の避難所としての機能も強化。

文化財・研究開発分野における国土強靱化の取組

文化財の防火・耐震対策

▶ 国指定文化財(建造物)等の防火対策

火災早期覚知のための警報設備(自動火災報知設備)等や、延焼防止のための消火設備等の整備を推進する必要。

▶ 国指定文化財(建造物)等の耐震対策

耐震診断の実施及びその結果を踏まえた耐震補強案の策定並びに耐震補強工事等を推進する必要。

【国土強靱化の取組事例】

重要文化財旧金毘羅大芝居（香川県琴平町）

江戸時代の芝居小屋で歌舞伎公演等にも活用。
見えない場所、見えにくい位置で構造用合板、鉄筋ブレース等で耐震補強を実施。



歌舞伎公演時
補強はほぼ見えない。



二階楽屋 補強完了後

鉄筋ブレース補強
(屋根面)

構造用合板補強
(床・壁の内部)

外観



地震観測網等の更新・機能強化

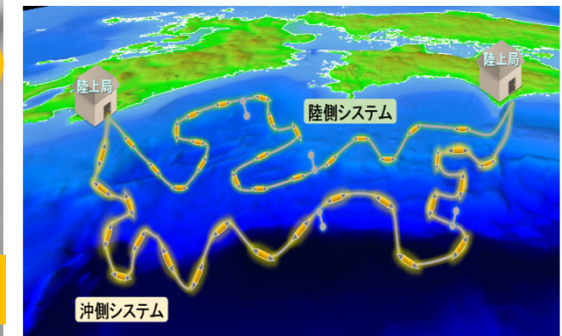
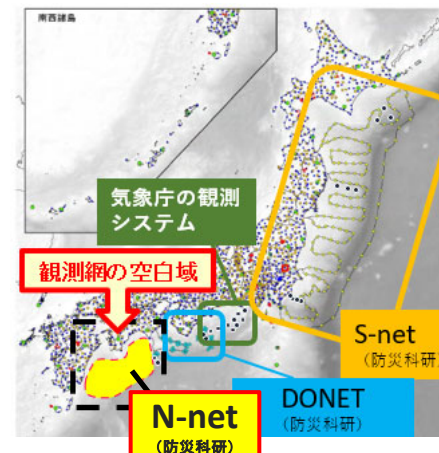
▶ 地震観測網等の更新・機能強化

防災科研が運用する全国の地震・津波・火山観測網について、引き続き、災害による停電時等においても継続して観測データを取得できるようにするなど、観測点の更新・機能強化に取り組む必要。

【国土強靱化の取組事例】

南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）の構築

防災科研では、南海トラフ周辺海域における観測網の空白域に、新たな観測網（N-net）の構築を進めており、現在観測機器を製作中。
今後、令和5～6年度にかけて段階的に観測機器を海洋敷設する予定であり、運用開始後は緊急地震速報や津波情報の高精度化・迅速化等に貢献。



N-netの設置図（イメージ）